2026年度　浅野工学専門学校

建築工学科

構造　　系統

対象	2　年次	開講期	通年	区分	必修	種別	講義	時間数	64	単位	4
科目名	鉄筋コンクリート構造					担当者	殿廣　泰史				

授業概要

鉄筋コンクリート構造の基礎知識および構造的特徴について講義を行う。また、梁や柱などの各部材について、問題演習をまじえながら構造計算を行う。

到達目標

鉄筋コンクリート構造の力学的特性を学んだ上で、各部材において基礎的な構造計算手法（許容応力度計算）を習得する。

授業方法

前期の中盤まではRC造の概要や、鉄筋・コンクリートそれぞれ、およびRCとしての特徴や力学的性質などの基礎知識について、講義を行う。以降は、梁や柱などの部材にそれぞれフォーカスし、その部材の構造的な役割を講義した上で、許容応力度設計法に基づく部材の設計手法を、例題および問題演習を通して理解する。

成績評価方法

出席・課題・期末試験

履修上の注意

試験は一部プリントを除き、自筆ノートのみ持ち込みを許可している。板書のみならず、必要と思われる事柄は、書き留めておくこと。また、計算に関しても『この数字はどこから来ているのか？』とならないよう、記述をしておくことで、後で見返した際に混乱を招かないよう、丁寧なノートづくりを心がけること。

教科書教材

図説　建築構造設計（学芸出版社／植松典人・藤田光男・大津秀夫）

参考書教材

鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）

関連科目

回数		授業計画
第1回	内容	概説、特徴
	細目	**概説、鉄筋・コンクリートの長所・短所、ビデオ鑑賞**
第2回	内容	特徴・歴史
	細目	鉄筋コンクリート構造の長所・短所、誕生と発展
第3回	内容	材料
	細目	コンクリート・鉄筋の種類・性質①

第4回	内容	材料
	細目	コンクリート・鉄筋の種類・性質②
第5回	内容	材料
	細目	コンクリート・鉄筋の種類・性質③
第6回	内容	材料
	細目	コンクリート・鉄筋の種類・性質④
第7回	内容	許容応力度設計法
	細目	長方形梁の設計①
第8回	内容	許容応力度設計法
	細目	長方形梁の設計②
第9回	内容	学外見学会
	細目	
第10回	内容	許容応力度設計法
	細目	長方形梁の設計③
第11回	内容	許容応力度設計法
	細目	長方形梁の設計④
第12回	内容	許容応力度設計法
	細目	T型梁の設計①
第13回	内容	許容応力度設計法
	細目	T型梁の設計②
第14回	内容	許容応力度設計法
	細目	あばら筋の設計①
第15回	内容	許容応力度設計法
	細目	あばら筋の設計②
第16回	内容	前期試験
	細目	自筆ノート、一部プリント持ち込み可

回数	授業計画	
第17回	内容	許容応力度設計法
	細目	柱の設計①
第18回	内容	許容応力度設計法
	細目	柱の設計②
第19回	内容	許容応力度設計法
	細目	柱の設計③
第20回	内容	許容応力度設計法
	細目	柱の設計④
第21回	内容	許容応力度設計法
	細目	スラブの設計①
第22回	内容	許容応力度設計法
	細目	スラブの設計②
第23回	内容	許容応力度設計法
	細目	スラブの設計③
第24回	内容	学外見学会
	細目	
第25回	内容	許容応力度設計法
	細目	スラブの設計④
第26回	内容	許容応力度設計法
	細目	基礎の設計①
第27回	内容	許容応力度設計法
	細目	基礎の設計②
第28回	内容	許容応力度設計法
	細目	基礎の設計③
第29回	内容	許容応力度設計法
	細目	耐震壁の設計①
第30回	内容	許容応力度設計法
	細目	耐震壁の設計②
第31回	内容	許容応力度設計法
	細目	耐震壁の設計③
第32回	内容	後期試験
	細目	自筆ノート、一部プリント持ち込み可